

深田・宮川が関東を制す

田中千晶

関東学連ロングセレ 兼 関東インカレ個人戦 2014年6月15日 埼玉県飯能市・東京都青梅市

今年も関東学連ロングセレの季節がやってきた。

2014年6月15日 飯能市・青梅市
関東学連ロングセレ関東インカレ個人戦

厳しい暑さの中での開催

2014年6月15日(日)、埼玉県飯能市と東京都青梅市にまたがる『七国峠』において2014年度関東学連ロングセレ兼関東インカレ個人戦が行われた。関東学連からは300名以上の選手が参加し、特に男子選手権には150名近くの選手が参加するなど、最近の加盟員の増加が反映された参加者数であった。大会の一週間前、関東地方は豪雨に見舞われ、練習会を中止にしたクラブ

もあったようだが、当日はよく晴れて最高気温が29.9度という暑さの中での開催となった。

手に要求する水準は高く、暑さも相まって厳しいレースとなった選手が多かったようだ。

ロングらしいタフなコース

選手権クラスのコースについてコースプランナーの牧野(東大OB)は『両クラスとも、全体を通してロング競技を走りきる体力、集中力、技術力を問うコースとなっており、特にロングレックではルート選択の際に自分の力量をはかって、正しくルートを選択することを求めた。インカレロング本番を見据えて藪を切るレッグや、体力的な負荷の高いレッグも織り交ぜ、レース終盤ではコース難易度を落とし、体力の削られた中での高速ナビゲーションを求めた。』と語っている。全体として選

選手権クラスレース結果

選手権クラスでは男子23名、女子13名の枠をかけて各選手が争った。男子選手権では、深田恒(東京大学3)が2位に7分以上の差をつけて男子選手権クラスを制した。深田選手は昨年度のインカレで、ロング・ミドルとも入賞しており、その実力を十分に見せつける結果となった。後には小島拓也(東京大学4)、福井悠太(東京大学3)、糸賀翔大(東京大学4)と続き、シード選手が上位を占めた。

2014年度日本学生オリエンテーリング大会ロング・ディスタンス部門関東地区代表選手選考会
兼 2014年度関東学生オリエンテーリング選手権大会個人戦

2014年6月15日(日)

実行委員長: 山田晋太郎

コースプランナー: 牧野達哉

緊急連絡先: (山田)

関東学連ロングセレ2014			
ME/MEC	7.8km	485m	
1	100	△	
2	101	△	○
3	102	△	
4	103	△	
5	104	△	
6	105	△	
7	106	△	
8	107	△	
9	108	△	
10	109	△	
11	110	△	○
12	111	△	
13	112	△	
14	113	△	
15	114	△	
16	115	△	
17	116	△	
18	117	△	
19	118	△	



2014年度日本学生オリエンテーリング大会ロング・ディスタンス部門関東地区代表選手
選考会兼2014年度関東学生オリエンテーリング選手権大会個人戦

2014年6月15日(日)

実行委員長: 山田晋太郎

コースプランナー: 牧野達哉

緊急連絡先: [REDACTED] (山田)

WE/WEC	5.5km	245m
1 119	ハ	ノ
2 135	ノ	ハ
3 120	ハ	ノ
4 110	ハ	ノ
5 123	ハ	ノ
6 122	ハ	ノ
7 102	ハ	ノ
8 121	ハ	ノ
9 124	ハ	ノ
10 125	ハ	ノ
11 133	ハ	ノ
12 117	ハ	ノ
13 118	ハ	ノ

- 給水所
- 立入禁止エリア
- 存在しない小径



また、女子選手権では稲毛日菜子(お茶の水女子大学 4)を 33 秒差で下して、宮川早穂(立教大学 3)が優勝を掴んだ。他の上位選手が分単位でのミスをする中で、全てのレッグでミスを 1 分以内に抑える堅実なレースができたようだ。宮川、稲毛の後には伊東瑠実子(東京大学 3)、渡邊彩子(早稲田大学 4)が続き、女子選手権でもシード選手が実力を示した結果となった。

今回枠を獲得した選手は、10 月に開催されるインカレロングで選手権クラスを走ることになる。彼らが全国でどういう走りを見せてくれるのか 1OG としてとても楽しみである。

運営を通して

当たり前のことではあるが、今回のロングセレ運営が筆者にとって初めてのセレクション運営であった。現役生にとってセレクションが持つ意味は重く、とても重要なものであることは実感していたので、今年度のロングセレも無事成立させることができ嬉しく思う。

また、運営に関わることで、今まで運営をしてきてくださった先輩方への

感謝の念が改めて意識された。そのような先輩方の中には今回の運営に協力して下さった方もおり、随所でサポートしていただき本当にありがたかった。ここに改めて感謝の意を表したい。

さらに、今回運営をして印象的だったのはレースに全力を尽くしている現役生の姿だった。筆者はフィニッシュにいたのだが、現役生の喜ぶ姿、悔しがる姿にとっても心動かされたし、そのように必死になれる場を作ることに携われたのはとても良い経験をさせてもらったと感じた。まだ先のことはあるが、今の 4 年生も卒業した後は是非運営に携わってほしいと思う。

(田中千晶)

結果

ME	順位	名前	タイム	所属
	1	深田 恒	1:17:52	東京大学 3
	2	小島拓也	1:25:39	東京大学 4
	3	福井悠太	1:26:24	東京大学 3
	4	糸賀翔大	1:29:59	東京大学 4
	5	澤口弘樹	1:30:34	早稲田大学 2
	6	橋本知明	1:31:20	東京大学 2

WE

1	宮川早穂	1:06:10	立教大学 3
2	稲毛日菜子	1:06:43	お茶の水女子 4
3	伊東瑠実子	1:19:09	東京大学 3

4	渡邊彩子	1:21:22	早稲田大学 4
5	砂田莉紗	1:22:15	横浜市立大学 3
6	小野澤清楓	1:27:48	群馬大学 2

MA

1	山下晋平	0:56:12	慶應義塾大学 3
---	------	---------	----------

WA

1	林 奈々	0:38:32	相模女子大学 2
---	------	---------	----------

MF

1	有賀祐亮	0:24:55	早稲田大学
2	河渡智史	0:24:59	筑波大学
3	友田雅大	0:25:26	早稲田大学)
4	佐藤陽太	0:25:51	横浜市立大学
5	土屋和輝	0:25:54	慶應義塾大学
6	平川仁志	0:26:55	慶應義塾大学

WF

1	増山春菜	0:19:24	筑波大学
2	鈴木直美	0:22:53	筑波大学
3	石原亜里沙	0:29:31	筑波大学
4	加藤涼子	0:30:38	相模女子大学
5	三浦やよい	0:31:53	相模女子大学
6	佐藤あおい	0:33:18	実践女子大学